

平成28年度 結核医療関係者研修会

青森県の結核罹患率は全国平均を下回っていますが、東北地方の中では最も高い罹患率となっています。また、全国的な傾向として高齢者の患者割合が高く、青森県も70代以上の患者が6割を占めています。

昭和の結核高まん延期を過ごしてきた現在の高齢者は、結核既感染者が多く、高齢になり、糖尿病等の合併症や、免疫抑制剤、ステロイド等の治療により免疫力が低下した際に発症することから、近年、高齢者の結核が増加しています。

一般的な肺結核の症状としては、咳、痰、発熱（微熱）、食欲不振、倦怠感、体重減少などがありますが、高齢者の場合、咳症状がわかりにくい事もあり、結核に気づかないまま病状が進行していることがあります。

今回の研修会では、国立病院機構茨城東病院 齋藤 武文院長に「老人ケアにおける結核対策について」と題し、高齢者の結核対策支援等についてお話しいただくことになっております。また、外国人の方が入院した事例の情報提供もあります。

医師・薬剤師・保健師・看護師・介護職員等、多くの保健・医療・福祉に携わる関係者の御参加をお待ちしております。

◎開催日時：平成28年11月19日(土) 14時00分～16時30分

◎受付：13時30分～

◎会場：ラ・プラス青い森 2階 カメリア

(〒030-0822 青森県青森市中央1丁目11-18 電話017-734-4371)

◎主催：青森県・独立行政法人国立病院機構青森病院

★プログラム★

14:00 開会挨拶

独立行政法人国立病院機構青森病院 院長 和賀 忍

14:05～14:30 情報提供

(1)「青森県の結核の概要」

青森県健康福祉部保健衛生課 主幹 佐藤 伸代

(2)「ネパールの方が入院しました」～宗教・食習慣・嗜好への対応～

独立行政法人国立病院機構青森病院 看護師長 西塚 弥生

14:30～16:30 講演 (質疑含む)

演題 「老人ケアにおける結核対策について」

座長 独立行政法人国立病院機構青森病院 内科医長 坂本 佳穂

講師 独立行政法人国立病院機構茨城東病院

院長 齋藤 武文

16:30 閉会

問い合わせ先：青森県健康福祉部保健衛生課 感染症対策グループ 佐藤
(TEL：017-734-9284 FAX：017-734-8047)

F A X 送 信 票	
送信先	青森県 健康福祉部 保健衛生課 感染症対策グループ 佐藤 行き
F A X	0 1 7 - 7 3 4 - 8 0 4 7

平成28年度結核医療関係者研修会

施設名 : _____

住 所 : _____

T E L : _____

記入者氏名 : _____

職名または職種	氏 名

※ 平成28年11月11日（金）までに提出してくださるようお願いします。